

(演題)

水中から見た琵琶湖の外来魚 ー水中写真・水中映像ー

(氏名)

琵琶湖博物館うおの会 中尾博行

(要旨)

演者は滋賀県立大学大学院在籍中に琵琶湖の外来魚の研究を行い、その過程で多くの水中写真、映像を撮影してきた。大学院修了後も、頻度は少ないながら琵琶湖や流入河川で水中撮影を続けてきた。琵琶湖の環境変化、外来魚そのものの増減、外来魚をとりまく社会状況が変化する中、写真や映像としてとらえられる水中の様子も変化してきたように感じられる。

本発表は調査研究に類するものではなく、高価な機材を使用した美しい写真、映像を紹介するものでもない。目にすることの少ない外来魚の水中での様子を見て頂くことで、情報交換会参加者の皆様の調査研究や保全活動の一助となればと考えるものである。写真、映像は琵琶湖北湖北部において、2000年代前半から中盤に撮影されたものが中心で、多くは現在の様子ではないことにも留意頂きたい。中には写った内容(魚の種類や行動など)について演者自信も正確に理解できていないものもあり、会場からご意見を頂戴できれば幸いである。